棚田遺産「三ツ石」知って

リーフレット 地元住民作製 小学校に寄贈

三ツ石棚田を紹介するリーフレットを、子どもたちに手渡した贈呈式＝下呂市宮地、竹原小学校

下呂市乗政の三ツ石地区の住民が、農林水産省認定の「つなぐ棚田遺産」などに選ばれている「三ツ石棚田」を紹介するリーフレットを作製し、市内の小学生らに寄贈した。棚田の写真や、地域の行事などを伝えており、地元の竹原小学校（同市宮地）で贈呈式が行われた。

三ツ石棚田は標高約700㍍にあり、面積は約10㌶。三ツ石棚田協議会や三ツ石農地保全組合などが、棚田を中心とした伝統文化継承に力を入れている点などが評価され、同省の認定や指定を受けている。

リーフレットは、県信用農業協同組合連合会（JA岐阜信連）の寄付金を活用し、約3千部を作製。棚田の田植え作業や秋の収穫祭、景観維持といった様子のほか、神社の例祭やどんど焼きなど地元行事を、写真をふんだんに使って紹介している。

贈呈式は、同協議会など関係者が同校を訪れ、児童や同市教育委員会にリーフレットを贈った。同協議会の中島巳代治会長は「子どもたちに棚田を知ってもらい、次世代に伝えることができれば」と話した。

（原田大介）

無断複製・転載を禁じます